

令和7年第4回定例会の内容と、
直近の鹿沼市議会の活動についてお伝えします。

No.237

2025年
11月25日 発行

あなたと議会

高校生
揮毫継

市内の高校生による
「議会だより」の題字書写リレー
今号は鹿沼南高等学校2年生
大貫柚萌さんが揮ごうしました。



2日間にわたる令和6年度決算の認定審査
決算特別委員会

市政のそこが聞きたい!!
市政一般質問

定例会に提出された議案は議会最終日の
採決の前に常任委員会で審査。
議論白熱! 常任委員会

9月定例会結果について

【表紙作品】
鹿沼東高等学校2年生 菅沼杏名さん
タイトル:「田舎」
[作品寸法 169cm×59cm]

市政のそこが聞きたい!!

一般質問

市政一般質問と議案質疑は、議員が市の施策の状況や方針などについて、質問を行うほか、報告や説明を求めるものです。9月定例会では、9人の議員が一般質問や議案質疑を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。

■一般質問の「QRコード」を読み取ると、その議員の一般質問の動画（YouTube）を視聴できます。



東武新鹿沼駅前、JR鹿沼駅前の 利便性向上と活性化について

藤田 義昭 議員



(YouTube)



答 弁 次期総合計画にも位置づけ、スピード感を持って取り組んでいきます。

問 駅前の商業及び観光施設、高校生等の居場所の整備など、具体的な実行策を示す必要があると思うが市の考えを伺う。

答 市長

特に高校生からは居場所や学習スペースを求める声が多く、現在、民間の空き施設の活用も含め、周辺地域の調査を進めています。引き続き高校生の意見なども聞きながら整備内容を検討していきます。東武新鹿沼駅とJR鹿沼駅は市の重要な玄関であり、その周辺の活性化は市全体の活性化にも繋がるものと認識していますので、次期総合計画にもしっかりと位置づけ、鉄道会社をはじめ、関係企業、団体、そして地元の方々をはじめ、多くの市民の皆様との協働により、スピード感を持って取り組んでいきます。

問 新鹿沼駅前は羽田空港直通電車の要望活動や駅周辺への拠点整備プロジェクトと連動させていくべきと考えるが。

答 市長

羽田空港直通電車の呼び込みの動きと駅周辺の活性化の動きを連動させる考え方は重要だと思っています。東武新鹿沼駅前活性化協議会に市が積極的に関わるとともに、羽田空港直通電車については、栃木市、日光市等ともタッグを組んで行っており、情報を密に共有しながら、周辺の活性化に繋がるような取り組みを、市としても模索していきたいと思っています。

その他の質問事項 ○クマ対策 ○「かぬま未来ミーティング」

自治体新電力について

仲田 知史 議員



(YouTube)



答 弁 設立については、大きな効果が期待できる一方、慎重な検討が必要であると考えています。

問 1メガワット規模発電所であれば市内約2千世帯分の電力を賄える試算するが、本市が自治体新電力を設立し、木質バイオマス発電を行うことについてどのように考えているか。

答 経済部長

自治体新電力とは、地方自治体が出資や経営に参画し、再生可能エネルギー電力を、主に地域内の住民や企業、公共施設に供給する小売電気事業者のことをいいます。国の資料によると、自治体新電力は、昨年4月時点で全国103カ所、県内では宇都宮市、那須塩原市において、それぞれ1か所ずつ設立されています。自治体新電力の設立については、大きな効果が期待できる一方、経営上のリスクも伴うため、電力需要、供給可能な電力量、利益を生み出せる経営戦略などについて、慎重な検討と採算の裏付けが必要であると考えています。

問 第9次総合計画において、バイオマス発電を計画に盛り込むかどうか考えを伺いたい。

答 市長

7割の山林を市が今後どのような未来に向けて治めていくのかは大きな課題であり、課題としてとらえるだけではなく、どのように市民還元も含めて活かせるのかという意味では、第9次鹿沼市総合計画の中で具体的に考えていく必要があります。環境政策として「発電」という部分について、いかに位置づけるか、今後の計画策定の中でも検討していきたいと思っています。

その他の質問事項 ○基金の運用



(YouTube)



堆肥化センターについて

答弁 敷地内に新たな堆肥舎を再整備することとしました。

問 堆肥化センターにおける家畜排せつ物の搬入量、堆肥の年間生産量、年間販売量、販売額について伺う。また、今後の運営方針について、市の考えを伺う。

答 市長

令和6年度の家畜排せつ物の搬入量は8千114トン、堆肥の生産量は3千661トン、堆肥の年間販売量及び販売額は2千384トンで、1千394万2千19円です。堆肥化センターの施設のうち、堆肥舎建屋は特に損耗が著しいことから、今年度、改修の可否を判断し、改修する場合の方法と費用を積算するために、「鹿沼市堆肥化センター堆肥舎マネジメント事業計画策定及び設計業務」をコンサル業者への委託により実施しています。先月、中間報告があり、「堆肥舎は再整備を要する」との結果が示されました。これを受け、市としては、近年、肥料の国内生産が求められ、堆肥の地域内循環の機運が高まっていること、「かめま和牛」に代表される本市の畜産農家経営の重要なインフラであることから、堆肥化センター事業を継続する方針で進めることとし、敷地内に新たな堆肥舎を再整備することとしました。再整備にあたっては、畜産農家を対象とした、今後の継続の意向などをふまえた、「経営意向アンケート」の結果を基に、将来的な搬入量を想定し、現在の堆肥舎よりも大幅に縮小した規模とし、製造方法は堆肥原料の確認をしながらローダー作業で調整する、現在の製造工程を基本としつつ、さらに効率的な手法を検討し、早急に再整備を行います。

その他の質問事項 ○鹿沼市学生海外友好交流事業 ○地域の道路整備状況 ○野生鳥獣等の対策

鹿妻 武洋 議員



(YouTube)



総合計画について

答弁 実績が確定する令和8年度において、改めて実施していきたいと考えています。

問 第8次総合計画について、どのように検証をするのか伺う。

答 総合政策部長

本年3月に実施した政策評価会議においては、次期総合計画の策定を見据え、令和5年度までの実績に、令和6年度及び令和7年度の実績見込みを加えた事業評価の結果に基づき、施策評価を行っていたいただきました。これをもって、令和7年度末時点までを見通した第8次総合計画の暫定的な評価とし、積み残した課題は、今年度策定を進めている第9次総合計画に繋げていきたいと考えています。なお、令和6年度の政策評価結果については、現在、市ホームページにも掲載していますが、第8次総合計画全体の検証については、令和7年度までの計画期間における実績が確定する令和8年度において、改めて実施していきたいと考えています。

問 次期総合計画について、評価・検証のために生成AIを活用することに対して、市の考えを伺う。

答 総合政策部長

生成AIは、市でも各種業務に取り入れて活用していますが、膨大な情報を迅速に処理分析するところにメリットがあると考えています。政策評価のシステムを構築できるかは、今後の研究次第になるかと思いますが、ご意見については参考にしながら、次期の政策評価に結びつけていけるように検討していきたいと思っています。

その他の質問事項 ○鹿沼市内小中学校の教職員の休職等

ねたきり老人等紙オムツ券給付事業について

答弁 当面は現行の支給方式を継続していきます。



(YouTube)



問 現状の対象者の基準、条件だと、「若年性認知症」に対応できません、支給方法も含め見直しが必要だと思いますが、市の考えを伺います。

答 保健福祉部長

現行制度における若年性認知症への対応については、65歳未満で紙おむつを利用している方への対象年齢の拡大等について、他市の制度や運用状況を確認しながら、慎重に検討していきます。現在の支給方法については、これまでの運用実績において、対象者への円滑な交付と利用が概ね図られているものと認識しており、当面は現行の支給方式を継続していきます。

問 給付額の見直しについて、他市の状況は1カ月で、日光市が6千円、栃木市は3千500円、宇都宮市が最大5千500円であり、鹿沼市の2千円は安すぎると感じます。せめて倍の4千円ぐらいが適正と考えますが、市の見解を伺います。

答 保健福祉部長

本市では申請は年1回、助成券は郵送で一括交付するなど、簡素でわかりやすい運用を重視し、さらに年間最大6セットの指定ごみ袋引換券をあわせて支給しています。金額だけで比べた場合、他市と差があるかもしれませんが、介護保険料や他の在宅福祉サービス全体のバランスを考慮して実施しています。今後もち続可能な制度のあり方を総合的に検討していきます。

その他の質問事項 ○認知症等に関する支援 ○基幹業務システムの統一・標準化

市長の公約「子育て・教育を重視する “かぬま”をつくる」について

阿部 秀実 議員



(YouTube)



答弁 県内他市とも連携を図りながら、要望していきます。

問 学校給食費無償化について福田富一知事は、県議会において「令和8年度には、県が何らかの形で市町を応援していく」と述べている。家計負担が大きくなっている今、検討を重ねることより、無償化実現に向けて進めるべきでは。

答 市長

政府において、令和8年度から小学校における給食費無償化を導入し、その後、中学校にも広げる方針が示されました。県においても、令和8年度以降無償化を実施する市町に対し、何らかの支援を行う考えが明らかにされました。なお、昨年度に引き続き、今年度も9月4日に栃木県知事に対し要望を行ったところですが、今後も、国や県における議論を注視し、早期実現に向け、県内他市とも連携を図りながら、要望していきます。なお、国や県による無償化実現までは給食費を値上げすることなく、これまで通り、物価高騰分の支援を継続していきます。

問 令和8年度、県が市に対する支援を予算化した場合、市は学校給食費の無償化に向けた動きに取り組むのか。

答 市長

国や県の状況によっては、新年度予算の中で、何らかの検討をするとも考えていく必要があるかと思っています。現状では、引き続き情報を確認しながら、考え方を整理するという段階にあることをご理解いただければと思います。

その他の質問事項 ○議案第64号 コミュニティセンター等の貸出体制の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定 ○鹿沼市の財政 ○地域公共交通 ○害虫対策

次期総合計画の策定について

橋本 勝浩 議員



(YouTube)



答弁 次期総合計画策定に合わせて、組織の見直し作業を進めています。

問 総合計画に限りませんが、計画は策定後の執行も大切です。効率良く実施に移すことを期待する市民も多いと思われる。そこで次期総合計画を効率的に推進するため、組織改編を行う考えはあるのか伺います。

答 市長

現在、次期総合計画策定に合わせて、組織の見直し作業を進めており、庁内において組織運営や業務遂行における課題とその対応策等について整理をしています。併せて、これまでいただいた市民の皆様のご意見も参考にしながら、「市民に分かりやすく、職員が働きやすく、縦割りでなく連携して施策に取り組みめる体制」となるよう進めていきます。

問 市民の側からすれば、求める要望を直接行う組織が分かりやすい組織となります。答弁では「市民に分かりやすい」組織改編に努めるとのことですが、具体的にどのような組織づくりを考えているのか伺います。

答 市長

市民の方が迷うことなく市民サービスを受けられるような組織にする必要があると思っています。私の思いとして、市の業務、それはまさに「市民のために行うものなんだ」ということを、部や課の名前が発信するぐらいのイメージがあってもいいのではないかと考えており、そのような視点に立って、市の組織機構の検討に入っています。

その他の質問事項 ○鹿沼市の教育行政 ○思川開発事業南摩ダム

鹿沼市役所における生成AIの活用について

船生 雅秀 議員



(YouTube)



答弁 生成AIの活用幅を広げていきたいと考えています。

問 現在多くの自治体でも生成AIを利用していると聞くが、鹿沼市ではどのような部署がどのような活用をしているか伺う。また、今後、生成AIにどの様に向かい合い、行政にどう生かしていくか展望を伺う。

答 総合政策部長

本市では、業務効率化を目的として、県内では初めて、令和5年5月から生成AIの導入に向けた検討を開始しました。その後、令和6年1月からの全庁的な文書生成AIのトライアル運用を経て、翌2月には本格運用を開始し、現在、様々な場面において活用を進めています。具体的には、会議の冒頭で使用するあいさつ文案の作成や、議事録の要約など、また、企画書の素案やキャッチフレーズの作成など、全ての部署において幅広い用途で活用されています。

生成AIが処理するデータには、誤ったものが含まれる可能性もあるため、生成物の内容について、職員により正確性などを確認する必要があるなど、いくつかの欠点はあるものの、セキュリティを確保するための対策を実施し、ルールを守りながら適切に活用することで、行政の業務効率化や、市民サービスの向上が期待できます。今後も技術の進展や他自治体の活用事例などを注視しながら、生成AIの活用幅を広げていきたいと考えています。

その他の質問事項 ○鹿沼市の外国人に対する施策

住みよいまちについて （「住みよさランキング2025」）

佐藤 誠 議員



(YouTube)



答弁 必要な施策を講じることで、住みよいまちづくりを目指していきたくと考えています。

問 「住みよさランキング2025」の
本市の結果および分析や今後の取り
組みを伺う。

答 総合政策部長

住みよさランキングは、公的統計
及び東洋経済新報社の調べによる20
の指標を基に、安心度、利便度、快適
度、富裕度の4つの部門から全国812
市区をランキングしたものです。今
年度の本市の全国順位は、昨年から
9つ順位を落として458位でした。そ
の要因は、安心度、利便度、富裕度の
3部門において、わずかに順位を落
としたためと考えています。一方、県
内での順位は、昨年から2つ順位を
上げて9位となりましたが、その要
因は、4部門のうち、快適度が8位
から7位に順位を上げたことによる
と思われます。快適度の順位が上が
った要因は、対象期間内の本市の転
入者数が転出者数を上回ったこと
で、転出入人口比率が上昇したため
と考えています。住みよさランキン
グは、客観的な統計データに基づく
評価手法の一つではあるものの、一
方で、本市の状況に変化がなくても、
算出方法の変更等により、順位の変
動が起こり得るものもあり、本市
としては、この結果を一つの指標とし
て捉えつつ、引き続き市民との対話
等を通し直接その声を聞きながら、
的確にそのニーズを捉えて、時勢に
合った必要な施策を講じることで、
住みよいまちづくりを目指していき
たいと考えています。

その他の質問事項 ○快適な秋まつり ○安い税金

議場の生け花

議場では一般質問の3日間、各団体様のご協力により生け花を飾っています。
今回の生け花は、文化協会フラワーデザイン部、平井好様の作品です。

テーマ：重陽の節句

花材：あじさい、ドウダンツツジ、ピンボンナム、ケイトウ、クルクマ、ワイヤープランツ

コメント：9月の花は、黄菊になります。菊は昔、平安の時代から菊花を愛でる祭がありました。
菊の花も葉も食料や薬用にもなりました。花の色も、白・黄・赤が上級だったのです
が、9月の菊だけは黄色が上級になる（高貴）といえます。



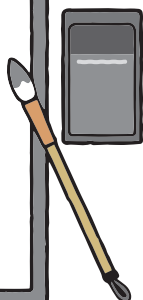
題字の揮ごう

今号は、鹿沼南高等学校 2年生の
大貫柚萌さんに揮ごうして頂きました。



あなたと議会

久しぶりの書道で緊張しましたが、基本を大切に心を込めて書かせていただきました。貴重な機会に感謝申し上げます。



表紙について

今号は、鹿沼東高等学校 2年生の
菅沼杏名さんの作品です。



私が北海道に行ったときの記憶をもとにして描きました。1人でも多くの人に私の絵を見てもらえることが、たいへんうれしく思います。

「あなたと議会」では、表紙に高校生の写真や
絵画を掲載しています。

次号は鹿沼南高等学校の生徒さんの作品を掲
載予定です。ご期待ください。

令和7年第4回定例会

認定9件、市長提出議案20件、議員案が6件提出されました。
また、陳情1件を審査しました。

令和7年第4回定例会 議員の賛否を公表

「全会一致（出席議員全員が賛成）」以外の議案等における、各議員の賛否は以下のとおりです。議員数23名、議長は表決には加わりません。
賛成：○、反対：●、棄権：棄、不参加：不、除斥：除、欠席：欠

番号	件名	採決結果	1 鹿妻武洋	2 仲田知史	3 橋本勝浩	4 早川勝弘	5 駒場久和	6 船生雅秀	7 橋本修	8 藤田義昭	9 梶原隆	10 宇賀神敏	11 大貫桂一	12 石川さやか	13 鈴木毅	14 阿部秀実	15 佐藤誠	16 館野裕昭	18 谷中恵子	19 津久井健吉	20 小島実	21 増淵靖弘	22 横尾武男	23 関口正一	24 大島久幸
認定 2号	令和6年度鹿沼市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
陳情 5号	公園・運動場等に除草剤・農薬等を散布する散布者・団体等が近隣に事前告知を義務化する条例を作って頂きたい旨の陳情	不採択	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●

※その他の認定8件、議案20件、議員案6件は全会一致で可決されました。
※欠席者については、鹿沼市議会会議規則の規定により、議長宛に欠席届が提出されています。

認定一覧

令和6年度決算

認定 1 令和6年度鹿沼市一般会計 歳入歳出決算の認定について

令和6年度一般会計予算は、当初以来10次にわたる補正を行った結果、予算総額は467億3,738万3,363円となり、これに対して決算額は、歳入において453億2,928万2,174円、歳出において441億2,469万3,050円、歳入歳出差引額12億458万9,124円であり、実質収支において10億227万6,339円の黒字決算となったものです。

なお、歳入歳出差引額と実質収支の差額は、継続費及び繰越明許費による翌年度へ繰り越すべき財源2億231万2,785円です。

認定 2 令和6年度鹿沼市国民健康保険特別会計 歳入歳出決算の認定について

認定 3 令和6年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費 特別会計歳入歳出決算の認定について

認定 4 令和6年度鹿沼市介護保険特別会計 歳入歳出決算の認定について

令和6年度決算

認定 5 令和6年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算の認定について

認定 6 令和6年度鹿沼市粕尾財産区特別会計 歳入歳出決算の認定について

認定 7 令和6年度鹿沼市清洲財産区特別会計 歳入歳出決算の認定について

認定2～7の各特別会計については、実質収支において黒字決算となりました。

認定 8 令和6年度鹿沼市水道事業会計 決算の認定について

収益的収支においては、当年度の純利益は9,938万4,267円でした。

認定 9 令和6年度鹿沼市下水道事業会計 決算の認定について

決算においては、収益的収支で当年度純利益2億6,988万7,299円でした。

7ページへ続きます

議案等一覧

その他

議案 52 令和6年度鹿沼市水道事業会計 未処分利益剰余金の処分について

未処分利益剰余金3億2,893万6,972円のうち、9,938万4,267円を建設改良積立金に積み立てるとともに、2億2,955万2,705円を資本金に組み入れるためのものです。

議案 53 令和6年度鹿沼市下水道事業会計 未処分利益剰余金の処分について

未処分利益剰余金5億3,953万308円のうち、2億6,988万7,299円を建設改良積立金に積み立てるとともに、2億6,964万3,009円を資本金に組み入れるためのものです。

令和7年度補正予算

議案 59 令和7年度鹿沼市粕尾財産区特別会計 補正予算(第1号)について

歳入予算の更正として、繰越金の増額を計上し、繰入金の減額を計上するものです。

議案 60 令和7年度鹿沼市清洲財産区特別会計 補正予算(第1号)について

歳入予算の更正として、繰越金の増額を計上し、繰入金の減額を計上するものです。

令和7年度補正予算

議案 54 令和7年度鹿沼市 一般会計補正予算(第5号)について

歳入については、国県支出金、繰越金等の増減額を計上し、歳出については、予防接種費、中小企業経営対策事業費、道路長寿命化対策事業費等の増減額を計上したもので、この補正額を10億1,723万2,000円の増とし、予算総額を439億9,732万9,000円とするものです。

議案 55 令和7年度鹿沼市国民健康保険 特別会計補正予算(第1号)について

歳入については、国庫支出金、繰入金及び繰越金の増減額を計上し、歳出については、国民健康保険事務費、予備費等の増額を計上したもので、この補正額を1億3,258万2,000円の増とし、予算総額を96億8,158万2,000円とするものです。

議案 56 令和7年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費 特別会計補正予算(第1号)について

歳入予算の更正として、繰越金の増額を計上し、繰入金の減額を計上するものです。

議案 57 令和7年度鹿沼市介護保険特別会計 補正予算(第1号)について

歳入については、国庫支出金、繰入金及び繰越金の増減額を計上し、歳出については、介護給付費準備基金積立金、償還金等の増額を計上したもので、この補正額を2億1,186万3,000円の増とし、予算総額を87億8,686万3,000円とするものです。

議案 58 令和7年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計 補正予算(第1号)について

歳入については、繰入金及び繰越金の増額を計上し、歳出については、後期高齢者医療事務費及び予備費の増額を計上したもので、この補正額を1,966万8,000円の増とし、予算総額15億1,866万8,000円とするものです。

市道

議案 61 市道路線の認定について

東町1丁目及び千渡地内における主要地方道宇都宮鹿沼線の整備並びに上野町地内における開発行為により、移管される旧県道及び新たに築造された道路を市道として認定するためのものです。

議案 62 市道路線の廃止について

千渡地内における主要地方道宇都宮鹿沼線の整備に伴い、道路の形態が無くなった市道を廃止するためのものです。

議案 63 市道路線の変更について

東町1丁目及び千渡地内における主要地方道宇都宮鹿沼線の整備及び旧県道の移管並びに上野町地内における市道0344号線鹿沼駅東通りの整備に伴い、関係する市道の起点及び終点を変更するためのものです。

条例

議案 64 コミュニティセンター等の貸出体制の見直しに伴う 関係条例の整備に関する条例の制定について

コミュニティセンター等の利用制限を見直すことにより、公共施設の活用促進を図るためのものです。

議案 65 鹿沼市行政手続における特定の個人を 識別するための番号の利用等に関する 法律施行条例の一部改正について

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、本市の情報システムを標準準拠システムに移行することに伴い、本市の情報システムにおいて市外の住民の情報を管理するためのものです。

条 例

議案 66 鹿沼市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する
条例等の一部改正について

地方公務員法の一部改正に伴い、育児のための部分休業制度を拡充するとともに、育児を行う職員に対する仕事と育児との両立に資する制度の情報提供等を任命権者に義務付けるためのものです。

議案 67 鹿沼市花木センター条例及び鹿沼市林産物
需要拡大施設条例の一部改正について

花木センターの再整備に合わせて、所在地の地番を改めるためのものです。

議案 68 鹿沼市前日光ハイランドロッジ条例及び鹿沼市前
日光つつじの湯交流館条例の一部改正について

施設を使用して飲食サービス等を提供する事業者が負担する専用使用料について、市外事業者の使用料の額を市内事業者と同額とすることにより、事業者の参入を促進するためのものです。

人 事

議案 69 人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員(候補者)※敬称略
金子 善剛(かねこ よしたか・入粟野)

議案 70 鹿沼市公平委員会委員の選任について

鹿沼市公平委員会委員 ※敬称略
佐伯 全弘(さえき まさひろ・坂田山3丁目)

令和7年度補正予算

議案 71 令和7年度鹿沼市
一般会計補正予算(第6号)について

歳入については、繰入金の増額を計上し、歳出については、堆肥化センター整備事業費及び予備費の増減額を計上したもので、この補正額を874万5,000円の増とし、予算総額を440億607万4,000円とするものです。

議 員 案

議員案 2 決算特別委員会の設置について

特別委員会を設置するためのものです。

議員案 3 鹿沼市議会委員会条例の一部改正について

予算決算常任委員会の設置などを行うため、鹿沼市議会委員会条例を一部改正するためのものです。

議員案 4 鹿沼市議会議員の倫理に関する条例の
一部改正について

鹿沼市議会議員政治倫理審査会を設置するために必要な議員の連署を「2名以上」から「3名以上」に改めるなど、鹿沼市議会議員の倫理に関する条例を一部改正するためのものです。

議員案 5 鹿沼市議会会議規則の一部改正について

表決の際の棄権ボタンの運用を廃止するためのものです。

議員案 6 各常任委員会への特定調査事件付託について

議会から4つの常任委員会に対し、特定調査事件について閉会中の調査を付託するためのものです。

議員案 7 議会運営委員会への調査事件付託について

議会から議会運営委員会に対し、特定調査事件について閉会中の調査を付託するためのものです。

陳 情

陳情 5 公園・運動場等に除草剤・農薬等を散布する
散布者・団体等が近隣に事前告知を義務化する
条例を作って頂きたい旨の陳情

公園や運動場等に除草剤・農薬等を散布する際には、散布者・団体等が近隣に事前告知を行うことを義務化する条例の制定を求めるものです。

議案に対する討論

●認定第2号 令和6年度鹿沼市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

反対討論

阿部秀実 議員

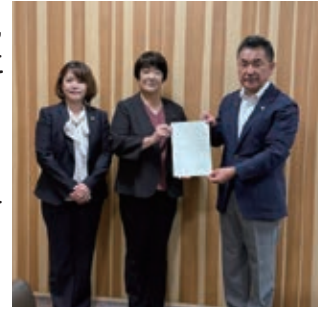
令和6年度国保特別会計の当初予算でも反対をした。理由としては、「高くて払うのが大変だがなんとか納めている」といった声が多い中、負担軽減に向け、まずは子育て世代の保険料を軽減すべきであり、子どもの均等割を賦課しないことを求めた。その財源としても国保財政調整基金の取り崩しを求めたが実現できなかった。市は基金が減少していくことを理由としたが、基金残高は約14億4千万円と増えている。あらゆる角度から子育ての応援が必要であり、こうした取り組みを進めるべきであるが、反映されることがなかったため反対する。

議会報告会・意見交換会

市議会では、市民の皆様と直接対話をさせていただくため、各地区で議会報告会・意見交換会を開催しています。地元自治会の意向を確認し、今年度は7月に2地区で開催することができました。

意見交換会開催後には、市民の皆様からの要望等について、議員による現地確認等を経て、市長に報告を行い、市からの回答を求めました。

今回は、2地区で開催した中でいただいたご意見、ご要望の一部を、市の回答とあわせてご紹介します。なお、報告書や現地確認の資料、市の回答については、各地区のコミュニティセンターや市のホームページで確認できますので、是非ご覧ください。



■東大芦地区

ご意見

50年以上経過した土地改良による用水管、排水管の老朽化が深刻化している。漏水が激しく、必要な時期に水が確保できない。修繕を市にお願いしたい。

市の回答

用水路や排水路などの農業用施設は、受益者である農業従事者自身で維持管理することが原則となります。維持管理のために多面的機能支払交付金の活用が検討できますので、要望に応じて、交付金の案内及び申請のサポートを行ってまいります。

ご意見

公共施設を避難施設として指定しているが、東大芦コミュニティセンターは耐震基準に合わず指定できないと聞いている。この現状について市はどのように考えているのか。

市の回答

東大芦コミュニティセンターは、建築から40年以上経過しており、



老朽化による故障や不具合が生じています。地域コミュニティの中心として役割を果たせるよう、整備にあたっては、複合化・規模の適正化、様々な視点から手法を検討してまいります。

また、東大芦地区においては小学校と東大芦コミュニティセンターを避難所に指定していますが、現在の東大芦コミュニティセンターは耐震基準に合わないことから地震災害時には開設しないこととしています。避難所として指定可能な施設があれば指定を進めていきたいと考えております。

■南摩地区

ご意見

消防団員の人員の確保が急務である。少子高齢化、人口減少で確保が難しい。消防団員の待遇改善や負担軽減に努めて、消防団の魅力作りを進めてほしい。また、待機部屋にエアコンが無く、待機命令があっても長時間待機が難しい。エアコンの設置をお願いしたい。

市の回答

これまで、「鹿沼市消防団地域防災力充実強化ビジョン」に基づき、インスタグラム開設等のPR活動強化など、団員確保や消防団充実強化のための施策を進めてきました。当該ビジョンは来年度が計画最終年度であり、今年度に全団員向けアンケート等の基礎調査、来年度には次期計画策定を予定しています。団員の確保は全国的な課題であり、当然ながら次期計画策定の中でも効果的な魅力アップの施策を検討してまいります。

また、消防団施設へのエアコン設置については、猛暑が深刻化する中で、消防団員の環境改善のため必須であると考えます。当該消防団と協議し、設置に向けた課題等の検討等を行った上で、エアコン設置を計画的に進めます。



地区別参加者数

開催地区	開催日	参加者数
東大芦	7月1日	23人
南摩	7月4日	30人
合計	2地区	53人

ご意見

小中学校の統合に関して、中学校は西中になり通学距離が長い。今後スクールバス等でも安全に登下校できるような配慮をお願いしたい。

市の回答

統合校の開校に向けて、保護者や地域住民の代表で構成する「開校準備会」や「専門部会」を設置し、学校名やスクールバスの運行や通学路の安全確保など様々な調整・準備をしてまいります。

小中学校の統合により、通学区域が広域になることから、遠距離通学となる児童生徒について、スクールバス等の通学支援を導入してまいります。

南摩地区につきましては、令和8年4月から中学1年生が西中学校に順次入学するという計画で進めており、そのタイミングに合わせてスクールバスを導入する方針としております。

具体的な運行経路や時間等につきましては、地域の実情に考慮しつつ、保護者と検討を行い、安全に通学できるよう調整してまいります。

常任委員会 審査報告

新たな事業や
予算などに関し、
真剣な議論が行われて
います。このページで
は、審査内容の一部を
ご紹介します。

常任委員会とは、議会に提出された議案や請願、陳情などを審査するため、議会に常設されている委員会のことです。3つの常任委員会があり、議員はいずれか1つの委員会に所属しています。年4回の定例会では、市の予算や条例の制定などの議案について、各部局から説明を聞き、審査を行います。各定例会の最終日に、委員長による報告が行われ、議案の採決が行われます。

総務常任委員会（定数 8人）

●委員長 増淵 靖弘 ○副委員長 橋本 修

・鹿妻 武洋、仲田 知史、早川 勝弘、
駒場 久和、石川 さやか、大島 久幸

議案64 コミュニティセンター等の貸出体制の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

概要 コミュニティセンターは、出張所機能と公民館機能を併せ持つ施設であり、会議や趣味の教室、またはイベント会場など、様々な用途で利用いただいています。しかし、公民館は社会教育法に規定する施設であり、営利にあたる利用に対しては貸し出しすることができませんでした。そこで、活発に行われている地域活動や市民活動の現状を踏まえ、営利にあたる活動にも貸し出しができるよう見直しを行います。なお、営利目的で利用する場合の使用料は、従来の使用料の3倍とします。併せて、鹿沼市民情報センターと鹿沼市文化活動交流館についても、同様の見直しを行います。

今回の見直しにより、利用者はそれぞれの施設をこれまで以上に柔軟に利用することができるようになりますので、地域活動の幅が広がり、さらなる生涯学習活動の充実や文化振興の促進等につながることが期待できます。

教育福祉常任委員会（定数 8人）

●委員長 藤田 義昭 ○副委員長 宇賀神 敏

・橋本 勝浩、船生 雅秀、梶原 隆、佐藤 誠、
館野 裕昭、谷中 恵子

議案54 令和7年度鹿沼市一般会計補正予算（第5号）

「保健衛生事務費」の5千万円の増額について

概要 上都賀総合病院に対する支援で、持続可能な地域医療体制を実現するための公的病院支援補助金を計上するものです。

Q 年間5千万円を令和7年度から令和9年度までの3年間、上都賀総合病院に補助することとありますが、5千万円の根拠、4年目以降の見通し、他の病院への影響について伺います。

A 補助金額の根拠ですが、上都賀総合病院から、財務諸表や決算書等の資料を提出していただき、経営状況等を確認したのち、話し合いのもとに5千万円という金額を決めたところです。4年目以降の見通しですが、補助期間は病院の経営改善期間である3年間で設定しました。ただし、4年後も物価高騰や人件費の上昇などが続き、病院の責任によらない

産業建設常任委員会（定数 8人）

●委員長 大貫 桂一 ○副委員長 鈴木 毅

・駒場 久和、阿部 秀実、津久井 健吉、
小島 実、横尾 武男、関口 正一

議案54 令和7年度鹿沼市一般会計補正予算（第5号）

「花木センター施設整備事業費」4千809万1千円の増額について

概要 花木センターの下段に新たなセリ場等を整備するため、旧管理棟や現在のセリ場等の解体工事及びセリ場周辺の外構工事の設計委託などを行うため、増額するものです。

Q 市民から、「老朽化が進んでいるため、少しずつ整備するより、全体的な整備をしてリニューアルしたほうがいいのではないか」という意見も出ていますが、今回の整備はいつから始まるのか、また、今後の計画について伺います。

A 花木センターは、公募型プロポーザル方式により契約した事業者と協議をしながらイベントスペースの建物の設計を進めています。が、駐車場から中段の売り場の動線が一番の課題となっており、プロポーザル時には、その課題解決に向けたアイデアも募集しました。

Q 営利目的として使用する場合の使用料を、従来の使用料の3倍と設定した理由を伺います。

A 利用頻度が高く、また、どのコミュニティセンターにも設置されている大会議室にあたる部屋を対象に、年間の維持費等をもとに原価計算を行っていました。現行の使用料と比較すると、原価計算した結果が約3倍となっており、営利目的であれば、原価計算分を受益者負担として求めることが、妥当であると判断しました。

その他の付託審査議案

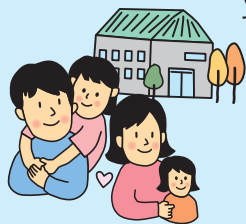
議案54 令和7年度鹿沼市一般会計補正予算(第5号)について

議案59 令和7年度鹿沼市粕尾財産区特別会計補正予算(第1号)について

議案60 令和7年度鹿沼市清洲財産区特別会計補正予算(第1号)について

議案65 鹿沼市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部改正について

議案66 鹿沼市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部を改正する条例の一部改正について



総務常任委員会の様子

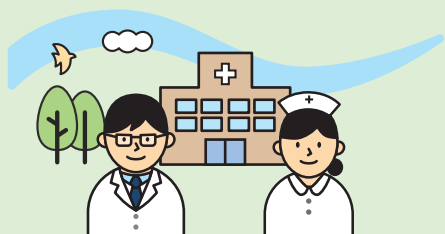
損失が生まれる可能性がありますので、今の状況では何とも言えませんが、その時の状況をよくお聞きして判断していきたいと考えております。他の病院への影響ですが、補助を考える際に、医師会とも相談しており、医師会からも「上都賀総合病院については、仲間であるので、バックアップしていきたい」と同意をいただいています。もちろん、他の病院からも相談があった場合は、状況をしっかりと聞いて、対応をしていきたいと考えております。

その他の付託審査議案

議案55 令和7年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

議案57 令和7年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

議案58 令和7年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について



教育福祉常任委員会の様子

その中で、旧管理棟やセリ場等を解体し、イベントスペースの建物と外構の部分も合わせて来年度、一体として工事する判断に至り、解体の工事費として3千600万円、イベントスペース周辺の外構の設計費用として1千98万9千円などを計上しました。この予算に基づき、今年度中に旧管理棟やセリ場等の解体工事を行い、令和8年度にイベントスペースの建物とその周りの外構の部分为一体として整備していく予定です。

その他の付託審査議案

議案52 令和6年度鹿沼市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案53 令和6年度鹿沼市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案56 令和7年度鹿沼市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)について

議案61 市道路線の認定について

議案62 市道路線の廃止について

議案63 市道路線の変更について

議案67 鹿沼市花木センター条例及び鹿沼市林産物需要拡大施設条例の一部改正について

議案68 鹿沼市前日光ハイランドロッジ条例及び鹿沼市前日光つじの湯交流館条例の一部改正について



産業建設常任委員会の様子



議会の視点で決算をチェック

鹿沼市議会
決算特別委員会
令和6年度決算審査



決算特別委員会 令和7年9月24日・25日

議会選出監査委員に聞く

年々、経常収支比率は上昇傾向にあり、財政構造の硬直化及び弾力性の低下が進行しています。

今後、社会環境の変化や物価高騰・人件費の上昇の影響等に対応しながら、将来にわたり持続可能な財務体質を保持するために、財源の安定的な確保に努めつつ、現在、策定を進めている「第9次鹿沼市総合計画」において、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう事業を精査し、財源配分の重点化・効率化の推進を望みます。



津久井健吉
監査委員

委員長のコメント

鋭い視点から長時間に及ぶ 決算審査が実施された



宇賀神 敏
委員長

議会が可決した当初予算が適正に執行されたかを慎重に審査。決算書の説明や主要施策成果の報告等を吟味し、質疑が行われた。

公共交通の整備事業について



梶原 隆
副委員長

問 決算額が当初予算額から増加した理由を伺います。
答 生活課長
ドライバーやオペレーターなどの人件費や燃料費が高騰したことなどが理由です。



鹿妻 武洋 委員

ふるさと納税型クラウドファンディング 活用公益活動支援事業について

問 事業の成功とは別に、どのような公的利益があったか伺います。
答 協働のまちづくり課長
市の目指す、自然と寄り添うまちづくりや市民のスポーツ参画人口の拡大、文化継承などに寄与しています。

戸籍住民基本台帳費の マイナンバー事業費について

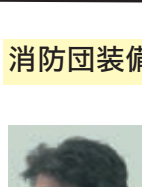


早川 勝弘 委員

問 令和6年度より計上されているマイナンバー事業費の内容について伺います。
答 市民課長
デジタル行政サービスを推進するためのもので、これまで住民基本台帳費で計上していた予算を、国庫補助事業のため分け計上したものです。

問 事業内容及び成果について伺います。
答 学校教育課長
新たに教育支援センターを設置し、教育支援センター長を配置したことにより、相談業務の充実を図ることができました。

教育研究所事業費について



橋本 修 委員

消防団装備の充実強化について



橋本 修 委員

問 充電式運搬車2台を導入したことですが、どのようなものか伺います。
答 消防総務課長
車が進入できない場所へ、資機材を搬送することなどに使うものです。

農作物活性化 推進事業費について



仲田 知史 委員

問 当初予算より決算額が少ないがその理由を伺います。
答 農政課長
当初2千万円の補助を想定したスマート農業補助金について、申請件数3件、28万円の補助であったことなどによるものです。

問 予算額に対して収入済額が減った主な理由を伺います。
答 整備課長
千手山公園のおとぎ電車、機械の不具合により令和7年1月から3月まで運休したため、歳入が減少したことなどによるものです。

都市計画使用料について



大貫 桂一 委員

問 指定管理料7千606万3千994円の算出根拠を伺います。
答 農政課長
建築保全業務労働単価を基に、建物の維持管理にかかる費用を算出し、積算しています。

鹿沼市花木センター公社への 指定管理料について



船生 雅秀 委員

生活保護扶助費について

問 生活保護の扶助を受けている世帯数と人数を伺います。
答 厚生課長
令和6年度は528世帯で受給者数は618人、保護率は6.81パーミルとなっています。



佐藤 誠 委員

庁用共通管理費について

問 経費削減の観点から、市役所の電話料金額と通信会社との契約状況について伺います。
答 行政経営課長
令和6年度の決算額は86万3916円、IP電話を導入するなど、回線基本料の削減に努めています。



阿部 秀実 委員

こどもみらい基金 繰入金について

問 当初予算より減額になった理由を伺います。
答 子育て支援課長
家庭児童相談システム更新経費など、各事業の実績に基づき減額したものです。

常任委員会の調査結果を報告しました。

3つの常任委員会がそれぞれ独自に調査テーマを掲げ、関係機関や市執行部等からの意見聴取、討議研究を重ねてきました。

このたび調査結果がまとまったことから、各委員長から議長へ報告するとともに、市執行部へ提出しました。

各常任委員会の調査報告のうち、提言部分の概要をお知らせいたします。

総務常任委員会

継続調査
テーマ 公共交通不便地における持続可能な交通対策について、公共施設（校舎等）の再利用について、RPA等を活用した窓口業務改善事業について

(1) 公共交通不便地における持続可能な交通対策について

- 予約バスの利用について、一定の利用者数を集めて運行することや、渋滞ごとに運行する曜日に分けることで、稼働率を向上させること。
- リーバス、予約バスについて、AI活用型オンデマンド交通の導入により、既存のバス停だけではなく、利用者同士をつなぐ最短距離を走らせるシステムの構築を検討すること。
- 地域共助型交通サービスのエリア拡大を目指し、ボランティアの育成と運営の支援拡大、各地域の詳細なニーズ調査を実施すること。
- 地域差も考慮した上で、高齢者へのタクシー券の配布を検討すること。
- コンパクトシティ・プラス・ネットワークについて、矛盾が生じないように、西北部の利便性が向上するようなネットワークを検討すること。
- 各地区によって公共交通の課題や問題の背景が異なるため、公共交通活性化協議会構成員、分科会のメンバーにもっと高齢者或いは各地区の代表者を入れること。
- 市民だけでなく、本市への来訪者にとっての利便性も考慮した公共交通を目指すこと。



(2) 公共施設（校舎等）の再利用について

- 公共施設等総合管理計画において施設分類ごとの維持コスト、耐用年数と取り壊し費用や時期の明示をする。まずは再利用されない場合、年間どの程度のコストが掛かるのか、耐用年数や将来掛かる取り壊し費用の概算を明示することにより議会内議論や市民間の協議がより活性化すると考える。
- 民間提案制度の促進のため、専門人材育成・外部人材活用及び配置によるコネク能力の強化をする。民間へのコネクティングは専門的な能力であり育成及び採用は急務と考える。また、人事面でも民間から提案された事業の評価には広く専門的な見識が必要とされ、専門的な人材を長く配置する仕組みを検討すること。
- 地方創生推進交付金、デジタル田園都市国家構想交付金、民間資金等活用事業調査費補助事業等の補助制度を積極的に活用すること。

(3) RPA等を活用した窓口業務改善事業について

- 部署によって取り組みに温度差があるため、RPA導入の意義、職員や市民にとってのメリットを共有し、スキル向上のために継続的な研修を行うこと。
- RPAによる効率化は、あらゆる業務について有効なわけではなく、主にルール通りの繰り返しの業務に向いているとされる。各部署において、RPAの活用がどの業務に有効であるか継続的に検討すること。

教育福祉常任委員会

継続調査
テーマ 子育て教育の環境整備について

- 高校生などから居場所を求める声が多く寄せられていることから、若者や子育て世代を中心とした利用者が、目的に応じて幅広く利用できる居心地の良い複合拠点施設を整備すること。
- 図書館をより利用度が高く、居心地の良い施設とするために、フリースペース等のリニューアル整備を行うこと。
- なお、複合拠点整備及び図書館フリースペース等のリニューアル整備については、県内他市を参考に、にぎわいの創造の視点を含め、子どもや若者を中心とした本市の魅力向上につながるような施設とすること。
- 八戸市「未来の保育士応援奨学金制度」のような施策は、まちにとって必要な人材をピンポイントかつ長期的な視点で確保していくために有効であるため、本市においても今後、人材不足が見込まれる様々な分野の人材確保の仕組みとして導入すること。
- 「鹿沼市子ども計画」に掲載のとおり、本市の子どもや子育ての施策は、こども未来部のほか、保健福祉部や教育委員会、市民部などにも関係しているため、市の基本方針に基づいて横断的に関連施策を企画、調整するセクションを設置すること。
- 観光分野と教育・福祉など、各分野を連携させ、それぞれの施設の特性を活かした事業推進ができる組織づくりをすること。
- 限られた財源の中で事業の選択と集中を行い、子どもを「未来の人財」として育て、本や芸術文化などの知的財産を活かし、将来を見据えたまちづくりに取り組んでいくこと。



産業建設常任委員会

継続調査
テーマ

駅前の活性化と道の駅事業を通してのまちづくりについて

- 駅を中心とした周辺地区では、観光交流人口の増加を図るための観光交流拠点施設整備が必要であり、今後、本市の総合計画に盛り込み、具体的に進めていくことが重要であります。また、持続可能な施設づくりを進めることがまちの活性化を創り出すことは、先進事例の視察調査研究からも明らかであり、観光拠点施設と併せ、市民が常時交流できるための市民交流や学習のスペース、電車待ちスペースの確保などの整備も進めていくことで、本市の魅力的な観光や自然環境等の情報発信が推進され、本市の魅力向上と活性化につながります。

また、地域住民、若者をはじめ多世代の声、団体、民間企業などとの意見交換、情報共有に積極的に取り組むこと、小規模な区画整理計画の実施を規定することは、民間活力での動きに対し、活発化と、整備実現へ後押しにもなるのではと考えます。

- 「道の駅」は、地域振興対策や定住促進等、地方創生戦略を具現化するための重要な資源となり、「道の駅事業の実現」には、地域からの盛り上がりが必要不可欠であります。ゲートウェイ型とした、地域経済を支える産業の活性化や交流人口の増加を目指し地域の「見えるもの、買うもの、食べるもの」の魅力を発信し地域の活性化やインバウンド観光対策を推進し、定住人口の直接的増加や自治体の税収の増加などを活性化させる整備と、地域センター型と言われる、地域の農産物を活用した第6次産業を通した産業振興に資するほか、診療所など小さな拠点として住民サービスのワンストップ提供、高齢者への宅配サービスなど地域福祉への寄与、災害時の後方支援機能を備えた地域を支える拠点の整備の二つの角度から、地域経済の活性化や、地域住民の暮らしを支援できる鹿沼市ならではの特色を持つ道の駅事業を進めていくべきであります。



議会改革特別委員会の調査結果を報告しました。

「議会基本条例」では、市民への説明責任や市民の議会への参加、議員間の自由な討論、議員の政策立案に関する内容等が規定されています。これらの現状を検証し、さらに充実を目指すため、令和5年12月に議会改革特別委員会を設置しました。

委員会内に「開かれた議会検討部会」と「議会審議のあり方検討部会」を設置し、それぞれのテーマに基づき検討課題について議論を進め、「開かれた議会検討部会」では17項目、「議会審議のあり方検討部会」では21項目について、調査・研究を重ねてきました。

このたび、調査の結果がまとまったことから、9月12日に委員長（大島久幸議員）から議長へ報告いたしました。

主な検討結果

● 広報誌「議会だより」の改善

- ・ 市議会の活動状況を市民へ分かりやすく情報を提供するため「議会だより」の全ページカラー化を提言する。また、掲載情報の充実を図るため内容のリニューアルを進め、広報広聴委員会と連携し助言に務める。
- ・ 自治体広報アプリ「マチイロ」を活用し、「議会だより」の情報を全国へ配信するよう提言する。
- ・ 民間情報サイト（ツムクル等）への掲載を提言する。

● SNSの活用

- ・ 既存の情報ツール（市公式SNS、鹿沼ケーブルテレビのテロップ、庁内デジタルサイネージ等）を活用し、定例会日程、市政一般質問、議会活動等の情報を適宜、発信するよう提言する。

● ICT活用（ペーパーレス化）

- ・ 全議員がタブレット端末を活用し、資料作成等に要する経費の削減と事務の効率化及び環境への配慮を実現するため、ペーパーレス化の移行に向けた検討を行い、本会議や各常任委員会等で段階的に本格導入することを提言する。

● 決算特別委員会

- ・ 決算特別委員会について、予算と決算審議の連携、全員参加等のあり方について検討し、予算決算常任委員会を新たに設置することを提言する。また、予算決算常任委員会の下に分科会を置き、分科会は各常任委員会メンバーを、役職を含めてそのまま移行することを提言する。

そのほか、議会改革特別委員会では、「議員定数」、「議員報酬」、「政務活動費」についても調査、研究を行い、以下のとおり報告しました。

- **議員定数** : 鹿沼市議会の議員定数を24人から22人とするを提言する。
- **議員報酬** : 鹿沼市議会議員報酬を増額するを提言する。
- **政務活動費** : 鹿沼市議会の政務活動費は現状維持とするを提言する。



議長・副議長及び委員会の構成について

9月29日の本会議最終日に、副議長の選挙を行いました。また、議会運営委員会及び各常任委員会の委員を選任しました。（※敬称略）

鹿沼市議会議長



谷中 恵子

この度、鹿沼市議会議長の要職を引き続き担わせていただくことになり、改めて大変身の引き締まる思いでございます。

さて、令和5年12月に設置された議会改革特別委員会では、開かれた議会や議会審議のあり方などの調査・研究を重ねてまいりました。まだまだ検証するべきことは多く、今回の検証も含め、引き続き改善を図っていく考えです。

今後も議員全員が一致団結し、市民の皆さまに信頼される議会を築き上げてまいります。

市民の皆さまには、さらなるご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

鹿沼市議会副議長



大貫 桂一

この度、第53代鹿沼市議会副議長に就任し、責任の重さを痛感しております。

皆さまのご意見を伺いながら、防災、減災の推進や地域の活性化など、住みよい鹿沼を目指して全力で取り組むとともに、副議長として、谷中議長を補佐し、市民の皆さまに身近で魅力あふれた議会を感じていただけるよう、努力してまいります。

市民の皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議会運営委員会



委員長
館野 裕昭



副委員長
橋本 修

委員
鹿妻 武洋
橋本 勝浩
早川 勝弘
駒場 久和
石川 さやか
鈴木 毅
津久井 健吉
増渕 靖弘
横尾 武男
大島 久幸

総務常任委員会



委員長
小島 実



副委員長
仲田 知史

委員
船生 雅秀
大貫 桂一
阿部 秀実
佐藤 誠
津久井 健吉
関口 正一

予算決算常任委員会



委員長
増渕 靖弘



副委員長
早川 勝弘

※委員は全議員で構成

教育福祉常任委員会



委員長
石川 さやか



副委員長
鹿妻 武洋

委員
早川 勝弘
駒場 久和
橋本 修
宇賀神 敏
谷中 恵子
大島 久幸

産業建設常任委員会



委員長
横尾 武男



副委員長
橋本 勝浩

委員
船生 雅秀
藤田 義昭
梶原 隆
鈴木 毅
館野 裕昭
増渕 靖弘

各常任委員会の継続調査項目について

各常任委員会がそれぞれ独自に調査テーマを掲げ、議会閉会中も含め調査活動を行っていくため、特定調査事件の付託を議決しました。

●議員案第6号 各常任委員会への特定調査事件付託について

総務常任委員会	ODX を活用した地域公共交通と防災について
教育福祉常任委員会	○不登校及びひきこもり支援について ○健康寿命の延伸について
産業建設常任委員会	○水辺空間や交流拠点等の整備を通じたまちづくりについて
予算決算常任委員会	○予算及び決算に関する調査について

歯科医療に関する意見交換会に出席しました

10月28日(火)に、一般社団法人鹿沼歯科医師会との意見交換会が開催され、鹿沼市議会議員17名が出席しました。
口腔衛生や、オーラルフレイルに関する最新の知見、歯科医師会の活動状況を伺い、議員提案による「鹿沼市歯と口腔の健康づくり推進条例」の一部改正について検討しました。



定例会の日程

令和7年第5回定例会(予定)				令和8年第1回定例会(予定)			
月	日	曜	内 容	月	日	曜	内 容
11	19	水	議会運営委員会	2	9	月	議会運営委員会
	26	水	本会議(第1日) 提出議案の説明		16	月	本会議(第1日) 提出議案の説明
12	10	水	議会運営委員会 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	3	2	月	議会運営委員会 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問
	11	木	本会議(第3日) 議案質疑・一般質問		3	火	本会議(第3日) 議案質疑・一般質問
	12	金	本会議(第4日) 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託 予算決算常任委員会		4	水	本会議(第4日) 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託 予算決算常任委員会
	16	火	総務常任委員会/ 予算決算分科会		6	金	総務常任委員会/ 予算決算分科会
	17	水	教育福祉常任委員会/ 予算決算分科会		9	月	教育福祉常任委員会/ 予算決算分科会
	18	木	産業建設常任委員会/ 予算決算分科会		11	水	産業建設常任委員会/ 予算決算分科会
	22	月	予算決算常任委員会		16	月	予算決算常任委員会
	24	水	議会運営委員会 本会議(第5日) 採決		19	木	議会運営委員会 本会議(第5日) 採決



フォロワー1000人を目指しています!!
鹿沼市議会の活動を
Instagramで発信



※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページをご覧ください
ただくか、または議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)